

生き甲斐の持てる老後生活を

―上堺地区福祉のつどい―

上堺地区社会福祉協議会（及川有朋会長）では、10月30日の土曜日、上堺小学校に地域のお年寄り約200名を集め「第8回上堺地区福祉のつどい」を開催しました。

この催しは、お年寄りに楽しく生き甲斐のある生活を送ってもらおうと、毎年この時期に行われているもので、子どもたちと一緒にランドゴルフ、合奏やダンス発表、地区有志のみなさんによる芸能発表などを楽しみました。少子高齢化が進む現代社会、お年寄り子どもたちが一緒に過ごす時間が少なくなってきています。このような“世代を越えたふれあい活動”を今後もぜひ続けてもらいたいと思います。



第8回上堺地区福祉のつどい

子どもたちの演奏を目を細めながら観賞



坂田池の水を利用した放水訓練

坂田池公園で放水訓練

―横芝町消防団―

10月31日（日）、町消防団（若梅喜作団長）では、ふれあい坂田池公園を会場にホースの取り扱い訓練や消防車両による放水訓練を行いました。

この訓練は、寒さが増して、火の取り扱いが多くなるこれからの季節に備え、各団員が有事の際でも手際よく消火活動ができるようにと行なったもので、本部役員を含めた約200名の団員のみなさんは、消防署職員の指導のもと朝早くから夕方まで、規律訓練やホース取扱訓練、坂田池の水を利用した放水訓練、ポンプ操法訓練などに真剣に取り組んでいました。

大変ご苦勞さまでした。これからも、地域防災のためにご協力をお願いします。

園児と父兄が「も掘り」に挑戦

―フタバ保育園―

10月16日（土）、フタバ保育園の園児と父兄が同園近くの畑で「も掘り」に挑戦しました。

この「も掘り」は、近所に住む高宮昭夫さん（両国新田）が、子どもたちのためと10年ほど前から土地を提供し、毎年、さつまいもの作付けを行っているもので、春先に苗を植えてから約半年間、今日は待望の収穫日となりました。「ワー大きい！」「わたしの掘ったの見て」と、子どもたちは土まみれになりながら、自分の手で掘った「も」を誇らしげに見せていました。



土まみれになりながら掘り当てた「も掘り」

秋の『矢切りの渡し』を訪ねて！

第18回横芝町ふれあいウォーク

18回目を数える“横芝ふれあいウォーク”が、11月3日（水）に行われました。

今回は、5歳から82歳までの老若男女176名が参加し、市川市国府台の『里見公園』から東京都葛飾区の『柴又公園』まで約8kmを歩きました。

この日は、文化の日らしく、小説『野菊の墓』の舞台となった矢ぎりを歩き、「矢切りの渡し」で柴又に渡った後、映画の寅さんシリーズで有名な『帝釈天』、『寅さん記念館』などの自由散策を楽しみました。



江戸時代の面影を今でも残す「矢切りの渡し」